



やるき ほんき き さ き 木佐木

神奈川県議会議員

日本共産党

2025.8.6

木佐木ただまさ news

発行：党横浜北東地区委員会

横浜市鶴見区潮田 3-147-6

TEL：045-511-1021

Profile

- ▶1984 年山梨県出身
- ▶鶴見区馬場在住
- ▶神奈川大学法学部卒
- ▶よこはま健康友の会会長
- ▶横浜東民商顧問

病院の病床削減に NO !

補正予算と高校再編案に反対討論



2025 年第 2 回定例会、7 月 25 日の本会議において、日本共産党神奈川県議団を代表し井坂新哉県議が、知事から提出された 2 つの重要な議案に対し、県議会の中で唯一、反対の立場から討論を行いました。県民の暮らしに直結する「医療」と「教育」の課題について、その内容を紹介します。

補助条件の病床削減に異議

まず、令和 7 年度神奈川県一般会計補正予算第 2 号についてです。この予算は、経営が厳しい病院を支援するためのものが含まれていますが、共産党県議団は補助金を受け取るための条件に強く異議を唱えました。その条件とは、「病床(ベッド)を削減すること」です。

全国的に 6 割以上の病院が赤字経営という危機的な状況にある中で、経営が苦しい病院に補助金をちらつかせ、病床を差し出すことを強いて医療費削減につなげようとする国の手法は、見過ごせません。そもそも神奈川県は、人口当たりの病床数が全国で最

も少ない(47 位)という現状があり、これでは住民が安心して医療を受けられる体制とは言えません。コロナ禍で病床が不足し、医療現場が混乱した教訓を忘れてはならず、むしろ将来の有事も考慮した、一定程度の余裕を持った病床数を確保すべきです。討論では、病床を減らすという条件をつけずに、今年度は赤字を直接補填する補助を行うべきだと提案。さらに、県としても国に対し、今回の補助制度の見直しを要望するよう求めました。

県立高校の再編・統合案に反対

次に、神奈川県立の高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例についてです。これは、県立高校の再編・統合を進めるもので田名高校と麻生総合高校の統合、小田原城北工業高校と大井高校の統合が盛り込まれています。私たちは、これまでも県立高校改革について見直しを求めてきた経緯を踏まえ、今回の条例改正に反対しました。

再編・統合の根拠となる「質の高い教育」の定義が不明確なことや、その目標が達成されているのかどうかもわからない点を問題視しました。さらに、再編・統合によって学校の規模が大きくなることで、生徒一人ひとりに目が行き届かないといった教育環境への悪影響を及ぼす可能性についても指摘。また、この県立高校改革の政策決定プロセスが、県民や学校関係者の意見を十分に反映しているとは言えない点についても指摘し、より多くの関係者の声を聞くよう見直しを求めました。